

日 二 十 二		日 十 二		日 三 十 二		日 十 二			
火		月		日		土			
午後	午前	夜間	午後	午前	午後	午前	夜間	午後	午前
學科 駐軍間ノ警戒ニ就テ 監視法、報告、連絡、要領 二人哨、三人哨 陣中勤務(歩哨)	各個教練 1. 陣内ニ於ケル突撃、手榴彈 投擲運動、綜合動作 2. 擲彈筒射撃、運動、綜合動作	各個教練 突撃 各種狀況下ニ於ケル突撃 假標刺突	機關銃 各個教練(戰鬥) 陸地進入ノ射撃、連發系 1. 匍匐進入ノ要領 2. 彈藥搬送ノ要領	各個教練(戰鬥) 突撃 1. 突撃ノ要領 2. 各種地形ニ於ケル突撃 3. 上ノ共ニ突入スル動作 4. 假標ニ對スル刺突	學科 米兵兵ニ對シテ劍術 劍術(基本) 休養	學科 米兵兵ニ對シテ劍術 劍術(基本) 休養	各個教練(戰鬥) 連發 1. 靜肅行進 2. 記号ニ應ズル動作 3. 照明ヲ受ケルトキノ動作 4. 匍匐前進 5. 迅速果敢ナル突撃	各個教練(戰鬥) 連發 1. 飛進停止ノ要領 2. 一躍進スル距離決定 3. 歩度、選擇 4. 屈身匍匐ノ要領 5. 前進方向ノ維持	各個教練(戰鬥) 地形地物ノ利用 1. 各種地形地物、基礎的(胸 牆利用)ノ利用並ニ改修 2. 狀況ニ應ズル地形地物ノ利用法
三〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇 一三〇	一〇〇 一三〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇
尉少部分	尉少本山	尉少村中	尉少井石	尉少金子	香檳中尉 石井尉	香檳中尉 石井尉	尉少部分	尉少本山	尉少村中
全員小銃携行 陣中勤務令	步兵操典 各分業毎ニ實施 但シ格内ノ小銃	步兵操典 全員小銃	步兵操典 射撃教範 操典中隊補充兵ニ實施	步兵操典 劍術教範 全員小銃ニ實施 (但シ手ノ上ニテ進行)			同右	同右 步兵操典 操典教範	步兵操典 各分業毎ニ實施 附内丁ノ小銃トス

日九十二			日八十二		日七十二			日六十二			
土			金		木			水			
夜間	午後	午前	午後	午前	夜間	午後	午前	夜間	午後	午前	
陣中勤務 合哨、諸動作 (特に対敵能技諸動作)	聯隊砲教練 各種射向附組法、依此射事	聯隊砲教練 各種地形行進 各種射向附組法、依此射事	聯隊砲教練 射事中止及停止	衛生法、手入保存要領	陣中勤務(歩哨) 三人哨、三人哨、動作 特ニ監視法ト對敵能技諸動作	分隊教練(戰鬥) 突進、堅固ナル陣地、對之攻撃	分隊教練(戰鬥) 突進及陣内戰鬥(輕易ニ陣地)	陣中勤務(歩哨) 三人哨、三人哨、動作 特ニ監視法ト對敵能技諸動作	機関銃 取載卸下、要領	大隊砲 射事操作部分教育 陣地進入及交換	地形地物ヲ利用スル前進 射事及突進準備
二〇	一三〇	一三〇	一三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	一三〇	一三〇	三〇
尉少中	尉少坂	尉少本宮	尉少本宮	尉少坂	尉少金	尉少部分	尉少中	尉少本山	尉少井石	尉少井坂	尉少子金
全員小銃、小銃合	歩兵操典、射事、機関銃、歩哨、中隊、各々ニテ實施セシム	取法教練、馬事、提要、聯隊砲、兵ヲテ實施セシム	歩兵操典、射事、機関銃、歩哨、中隊補充兵ヲテ實施セシム	衛生法、改急法	歩兵操典、射事、機関銃、歩哨、中隊補充兵ヲテ實施セシム	同右	同右	歩兵操典、射事、機関銃、歩哨、中隊補充兵ヲテ實施セシム	歩兵操典、射事、機関銃、歩哨、中隊補充兵ヲテ實施セシム	歩兵操典、射事、機関銃、歩哨、中隊補充兵ヲテ實施セシム	歩兵操典、射事、機関銃、歩哨、中隊補充兵ヲテ實施セシム

考 備	日一月二第 日六月三至	日一十三	日十三	
		月	午後	午前
1. 教官の右計画ニ基キ細部ノ教育計画ヲ作製シ教育實施ニ日前迄ニ提出スル 2. 兵器練習用具及諸材料ハ各教官相互ニ連絡シ補充スルモノトス 3. 演習并ニ對抗部隊ニ要スル人員ハ四名ニ付之ヲ超過スル時ハ予メ連絡ヲトルモノトス 4. 機関銃、歩兵砲、榴霰、演習差出兵器人員ノ資料ハ別ニ示ス 5. 午前九時ノ午後四時ノ期間ハ同右ノ如ク 6. 夜間ノ教練ハ東南角附近ニ選ブモノトス 7. 本計画ハ状況ヨリ変更スルコトアリ		午後 懇話 申告 訓示 初年兵教育準備 特ニ教育計画ノ立案	午前 分隊教練(戰鬥) 突撃準備 突撃陣内戰鬥	午前 創術 武合教習 兵器手入保存要領 兵器檢査ノ要領
		三三〇	三〇〇	一三〇
		長隊部	山本少尉	中野少尉
			歩兵操典 歩兵隊別 但し附IA下ハ小銃	創術教範



五 四 三

石十五日命第一六號  
獨歩十五

日々命令

武月十新

郎靜弘晴

右者第一師團第二旅團通信隊  
 依前一月二十日特選通信隊  
 携行品 通信兵操典 步兵操典  
 教育期間 昭和十九年一月二十日ヨリ二月  
 右者旅團司令部 勸務ヲ命ス  
 右者旅團司令部 勸務ヲ命ス  
 依前十一月三日朝食後原隊ニ復歸ス  
 右者被服物品返納並受領ノ為本十八日ヨリ五日附  
 榆次ニ原出張ヲ命ス  
 右者可檢物輸送並入院患者ヲ送ル為本十八日ヨリ一日附  
 定テ以テ北縣野戰病院ニ出張ヲ命ス

官主下	藤
大竹	和
畑	吉
	田
	山
	本
	武
	日
	附
	以
	テ